お出かけ支援アプリⅢシステム

要件定義書

第1.0版

2023年　12月　29日

システム開発演習B

*2272012　稲村　悠*

*2272038　小室大輝*

*2272050　須藤空輝*

*2272094　森田大葉*

**１．背景**

　海外からの観光客の増加に伴い、旅行客が快適に観光できるような支援が求められるようになった。その要望に応えるために、弊社では「お出かけ支援アプリⅢ」の開発をすることを検討している。

　天候やその場所の名物など観光客が気になる情報を提供することや、海外の観光客へ対応できる様々な言語設定にできるなどの便利機能を併せ持ったアプリの開発により、観光客の旅行をサポートしてより良い旅行を提供する。

**２．課題**

現在、明らかになっている課題は次のとおりである。

1. 様々な機能を複数同時に実行しても快適に使えること
2. 海外の観光客へ対応することができるよう様々な言語を適切に翻訳できるようにすること
3. 歩きながら使うことを考えて、操作は簡単なものにすること
4. 全国47都道府県の天候情報を正確に取得し、利用者が求める場所の天候を提供すること
5. Android OSを基準に90％以上のスマートフォンでの動作を可能とすること
6. 待ち合わせを円滑にできるようにするため、目立つオブジェ写真と正確な位置情報を取得すること

**３．目的・方針**

２．に挙げる課題を解決しながら，観光をする利用者の快適な観光のサポートを目的として、「お出かけ支援アプリⅢ」の開発を行う。導入に当たっては、次の方針を掲げるものとする。

1. アプリを複数実行してもすべての機能が快適に動かす
2. 利用者の言語に対応し、素早く正確に切り替わるようにする
3. 画面に集中しすぎないような操作画面
4. 全国47都道府県の天候情報を正確に取得し、提供する
5. Android OSを基準に90％以上のスマートフォンでの動作を可能とする
6. 待ち合わせ機能におけるアラーム機能を実装して円滑に待ち合わせできるようにする

**４．概要**

本アプリは、海外からの利用者が快適に観光できるように天候情報、名物情報(見学ポイント、食事処)を提供することを主な機能とする。それに付随して天候情報による気象情報字確認機能、多言語サポート機能、待ち合わせ機能を搭載する。また画面構成、快適な動作性にも配慮し、利用者の安全性を損なわない。Androidでの実装をメインとし、全スマートフォンの90％で動作可能とする。

**５．用語の定義**

1. **名物情報**  
   各地の名物となる食べ物の情報
2. **利用者**

　　本アプリを利用する人

**６．機能**

本システムの機能は大きく次の5つに分類できる。各機能の名称と働きを以下に示す。

6.1　**利用者が指定した任意の場所の天候情報が取得できる機能**

各地から集めた天候情報を集計し、利用者が必要とする地域の天候情報を提供する。定期的に情報の更新ができる。

最新の情報を求めたいときのために更新ボタンも用意しておき、利用者が求めるタイミングで瞬時に情報を提供できるようにする。

主に最高気温、最低気温、湿度や天候が提供される。

6.2　**各地の名物となる食べ物を一覧で見ることができる機能**

各地の名物となる食べ物が名物情報として表示される。全国47都道府県の名物をリスト表示で利用者に提供する。

6.3　**英語を含む各言語表記を可能とする言語設定機能**

　利用者が日常会話で使用する言語に対応できるよう 様々な言語を正確に処理をする。その言語を扱う旅行者に違和感を持たせない翻訳を考慮しながら素早く正確に実行する。

　日本語表示は勿論。英語、中国語、韓国語、フランス語、アラビア語、ドイツ語、イタリア語の言語を実装する。

6.4　**待ち合わせ機能**

　集合時間が設定できるようにする。10分前になるとアラームが鳴る機能を導入し、設定した時間になるとアラームが鳴る機能を実装する。

　利用者の待ち合わせを円滑にできるようサポートできる。

6.5　**手持ちの時は、画面がスリープしない機能**

　スマートフォンのセンサを利用し、手が触れているときには画面をスリープ状態にさせない。

**７．**　**システム化の範囲**

本システムでは、すべての機能を実装することとする。

匿名性を必要とする個人情報の取り扱いはデリケートでなければならない。そのため、これらの情報を入力することは現実的ではない。

また、今回のシステムは、全国展開を考慮して大多数の同時接続を可能にすることとする。

**８．　導入・移行計画**

1. Open Weatherを用いて天候情報を取得し、天気予報機能を実装する
2. 端末の位置情報設定から、Mapを用いて利用者の位置情報を取得する

**９．**　**運用・保守**

1. 通常時の運用は、定期バックアップなどを含め、運用会社に委託する
2. 故障発生時は運用会社から保守会社に連絡して対応する
3. システムの運用スケジュール次の通りとする

　　月～日: 　稼働

**１０．　工程計画**

仕様凍結 ：　2023年12月31日

設計完了 ：　2023年12月31日

開発完了 ：　2024年1月20日

試験完了 ：　2024年1月20日

導入 ：　2024年1月21日

**１１．　体制**

1. アプリ開発部門は、システムに対して導入まで責任を持って対応する
2. 運用部門は、運用保守に対して責任を持ち、天候情報及び名物情報の正確な取得管理、アプリ利用者の秘匿情報保守を実施する

**１２．　成果物**

1. 要件定義書
2. 外部設計書
3. 内部設計書
4. 試験成績書（授業中に動作確認予定）
5. 製造プログラムファイルー式
6. マニュアル（運用、保守、操作）（今回は不要）

以上